

北海道開発局事前評価技術検討会 議事概要

- 1 日 時：平成 24 年 7 月 12 日（木） 9:00～12:00
- 2 場 所：札幌第 1 合同庁舎 10 階 3 号会議室
- 3 対象地区：国営かんがい排水事業「当麻永山用水地区」
国営かんがい排水事業「根室地区」
国営農地再編整備事業「今金南地区」
国営農地再編整備事業「北野地区」
国営総合農地防災事業「美留和地区」

4 議 事

北海道開発局事前評価技術検討会を開催し、平成 25 年度事業着手予定地区である国営かんがい排水事業「当麻永山用水地区」、国営かんがい排水事業「根室地区」、国営農地再編整備事業「今金南地区」、国営農地再編整備事業「北野地区」、及び国営総合農地防災事業「美留和地区」の事前評価に当たって、事前評価の評価結果（案）に関する評価内容、判定根拠等について、各委員の専門的見地から、意見を求めた。

質疑応答の概要は以下のとおり。

- （委 員）積雪寒冷により、コンクリートが劣化したのであれば、改修を行っても同様な劣化が生じるのではないか。
- （開発局）技術進歩により、現在のコンクリート構造物は、過去のコンクリート構造物と比較して積雪寒冷に対して耐用性が高い構造物となっている。
- （委 員）費用対効果分析に用いた資料について、作物生産効果の現況単収の求め方の説明の記述が異なっているが、その理由はなにか。
- （開発局）作物生産効果の現況単収は同様の手法で求めており、説明の記述を修正したい。
- （委 員）耕作放棄地の発生を防止することは国の重要な役割であることから、区画整理によりこれを防止することは国の基本的な仕事であると考えている。
- （開発局）区画整理については、北海道では要望が多く、今後、計画的に事業を推進したい。

(委員) 泥炭土に起因した地盤沈下は、今回の事業を実施しても進行し、将来的に同様な整備が必要となるのではないか。

(開発局) 泥炭土に起因した地盤沈下は、1次整備後に大きな沈下が生じるが、その後、機能回復を行った場合の沈下は僅かであることを先行事例で確認しており、今回の事業は恒久的な対策になるものと考えている。

5 技術検討会の意見

事前評価の評価項目である事業の必要性、技術的可能性、効率性、公平性、環境との調和への配慮、採択要件及びその他の評価項目は、適切に評価されている。

なお、事前評価も含め、過去の事業成果については、事業実施主体が広く情報提供することが必要であると考えます。

北海道開発局事前評価技術検討会 議事概要

1 日 時：平成 25 年 1 月 21 日（月） 14:30～17:30

2 場 所：帯広市

3 対象地区：国営農地再編整備事業「美唄地区」

4 議 事

北海道開発局事前評価技術検討会を開催し、国営農地再編整備事業「美唄地区」の事前評価に当たって、事前評価の評価結果（案）に関する評価内容、判定根拠等について、委員の専門的見地から、意見を求めた。

質疑応答の概要は以下のとおり。

（委 員）事業の内容について、受益者の同意はえているのか。

（開発局）土地改良法に基づく同意は今後取得することとなるが、現段階で仮同意を得ている。

（委 員）工事期間中に土地所有者が変更することも想定される。土地所有者の変更により、工事への同意が得られなくなることは想定されないのか。

（開発局）土地所有者の変更に当たっては、農業委員会において工事を行うことを前提に変更する体制としており、土地所有者が変更となっても工事を行うこととなる。

（委 員）耕作放棄防止効果の基礎となる耕作放棄地防止面積のどの様に算定しているのか。

（開発局）戸別の聞き取り調査を行い算定している。

（委 員）環境との配慮への配慮の対象となっている沼は人工的なため池か。

（開発局）人工的なため池ではない。

5 技術検討会の意見

事前評価の評価項目である事業の必要性、技術的可能性、効率性、公平性、環境との調和への配慮、採択要件及びその他の評価項目は、適切に評価されている。